

令和8年第3回会津坂下町議会定例会

一般質問通告書

◎ 9月7日（月） 午前10時より

順 番	議席番号	氏 名
1	9	五十嵐 一 夫
2	1	高 久 敏 明
3	4	横 山 智 代
4	5	小 畑 博 司
5	2	目 黒 克 博

◎ 9月8日（火） 午前10時より

順 番	議席番号	氏 名
6	7	五十嵐 正 康
7	3	物 江 政 博

令和 8年 9月

第 3 回 定 例 会

一 般 質 問 通 告 書

会津坂下町議会議員

質問者氏名 9 番 五十嵐 一夫

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
			第 1, 4 月にバス路線の変更をしたが、経過・課題・これからについて問う。 1, 路線変更にあたり、坂下町内高校への通学と、メガステージへの買い物客の利便を前面に考え路線変更したとのことですが、坂下町から若松、喜多方へ行く利用者の利便、町中から厚生病院の通院に利用者の利便をどのように検討したのか。 2, 3 路線が南幹線経由となったが、バス停留所の現状分析について (1) 待合者が風雨をしのげるところがないが見解を伺う。 (2) 冬季間の乗降所は除雪対応をどのように検討したのか。 町中は無雪道路であり冬を考慮しなくてよいが、南幹線は除雪をどうするのか、町中無雪道路の優位性を考慮したのか伺う。 (3) 町中経由より、バス停が少なくなり、バス停間の距離が長くなっている。利用者、特に高齢者にとっては不便を強いられることになったが、どのような感覚なのか見解を求める。 3, バス利用者のニーズをどのように収集分析して、バス路線と時刻に反映し利便の向上を図り、ひいては利用者の増加につなげるのが常識的な公共交通への取り組みであるが、どのように進めてきたのかとこれからどのように進めていくのか伺う。 4, 変更したバス路線をいつまで継続するのか、継続しなければいけないのか、変更したバス路線でいいのか、変更前の路線に戻す考えはないのか。 5, バス利用者の支援、現在 8,000 円であるが、運賃は昨年 10 月に約 15% 値上げされており、値上げにスライドした支援をすべきでないか。

若松坂下間を乗車すると道の駅での100円割引の利用券の制度があるが、ほとんど利用券が見当たらず、利用者の優待が堅持されていないようだが改善策について伺う。

6, コミュニティバス実証実験の運行の実績とこれからについて伺う。

第2、元気な高齢者であることが町の活性に寄与します。支援施策について問う。

1, わが町の健康寿命の推移と、お達者度の分析をしているのか。しているのであれば、どのような施策を講じていくのか伺う。これらの年齢を引き上げることは、活力あるまちづくりに欠かせません。取り組みについて伺います。

2, 高齢者が健康で元気で生活すること、できることにより、商店・飲食店等への経済波及効果や、医療費の軽減等で、町の活性や財政に寄与すると考えます。このようなメリットをどうお考えか見解を伺う。

3, 高齢者が元気で集うことに対する支援を講じているのか。

高齢者の団体への支援として老人クラブ補助金があるが、基本25人以上で22,000円であります。総額でいくらでしょうか、お示ください。子ども支援は多くの施策があります。総額どのくらいでしょうか、お示ください。元気な高齢者を減らさないためにも支援を増額することを切望します。期待に込めてください、伺います。

4, 高齢者にやさしいまちづくりも大切です。比較したいので、子ども支援の現状と高齢者支援の現状について伺います。

5, タクシー利用に対して、他市町村ではタクシー券の交付等高齢者に対して手厚い支援策を講じている自治体があるが、わが町の現状とこれからの取り組みについて伺う。

6, 「子ども食堂」なるものが日本各地で恵まれない子どものために設置・運営されています。高齢者にも一人暮らしや食事の支度ができない方、経済的に食事がとれない方もおります。高齢者が元気に集いあうことは健康

の源でもあります。「高齢者食堂」なるものを施策として取り組みを切望します。期待に込めてください、伺います。

第3、町が謳う協働のまちづくりと町長の政治姿勢について伺う。

町長は就任してから5年が経過しました。私は最初の頃は小さなことでも町民の要望に迅速にこたえ名町長であると評価し讃えました。

これから述べることは、私から見た町長の姿勢ですので、別な見方の町民もいるでしょうが聞いてください。

町庁舎移転先の議論については、町民の意見を十分にくみ取り議論するという、坂下町において竹内町長が協働のまちづくりを謳った、その精神を受け継いで発揮されたとは思っていません。説明会における意見は聞いても、聞き置くだけで、そのあとに議論をしようという精神がありませんでしたと申し上げたい。テーマについての説明会を1度のみならず複数回行い議論を重ねるのが協働まちづくりではありませんか。

同様なことがバス路線の変更で行われました。

今般バス路線の変更が町から公表され、知る由となった時期は2月でした。

自分たちだけで考えたからこれで実行するという、高圧で押し付けるような進め方です。実際第1で述べたように疑問や課題が噴出しています。

このような政治姿勢が古川町長の政治スタイルなのですね。協働のまちづくりの精神はないのでしょうか、これからも他の政策においても議論はしても、意見は聞くだけ、提案は曲げずの姿勢を貫いていくのでしょうか。

これが町長の町政執行の手法なのか、政治姿勢について伺うものです。

No. 2



令和 8 年 9 月

第3回定例会 一般質問通告書

会津坂下町議会議員

質問者氏名 1 番 高久 敏明

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
			第1 現役場庁舎周辺地域の今後のまちづくりについて 1. 現庁舎が移転することにより、中心市街地の状況は大きく変化するものと考えられるが、町として今後この地域のまちづくりをどのように考えているのか伺う。 2. 令和7年12月に示された会津坂下町中心市街地活性化基本方針について、具体的にどのような施策を実施していく考えなのか伺う。特に重点地区を設定しているが設定の趣旨と目指すところについて考えを伺う。 3. 令和7年度に実施した地域づくり懇談会における現役場跡地の利活用に向けた地域振興施設の整備について、町民からの意見が集約されていますが、内容をどのように分析し、また計画に反映する考えなのか伺う。 4. 住民参加型の検討組織などを設置する考えはないか伺う。特に若い世代の意見を取り入れる必要があると思うが見解を伺う。 5. 空き店舗や空き地を利用して、検討段階で出た意見を具現化して、社会実験を行ってみてはどうか、町の見解を伺う。 6. 地域振興施設を含めた役場周辺地域のまちづくり計画を今後どのように策定していく考えなのか、スケジュール、意思決定プロセスなどの点を含め説明願う。

No. 3



令和 8 年 9 月
第 3 回定例会一般質問通告書

No. 1

第 1 号 受付

会津坂下町議会議員

質問者氏名 4 番 横山 智代

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
			第 1 加齢性難聴者への補聴器補助について
			1. アンケートの集約の結果とそれに対する今後の取り組みについて伺う
			第 2 町内の街路樹等の植栽について
			1. 世界の平均気温が上昇傾向にあり、日本でも猛暑日が年々増えています。
			街路樹が猛暑から命を救うと言われています。
			坂下町は田畑や山林に囲まれ、緑は豊富であるとは思いますが、町内
			幹線道路、公園などは緑が少なくなっているように思われます。
			町の樹冠被覆率はどのようにになっているのでしょうか。
			2. 公園、緑地の除草、また植栽についての考えを伺います。
			第 3 教育行政について
			1. 公立小学校の学校給食無償化制度がはじまりましたが、教材費などの費用は
			義務教育の小中学校で保護者負担とされています。
			昨年 6 月に文科省から各自治体に「学校における補助教材及び学用品等に係る
			保護者の負担軽減について」（通知）が発出されています。
			町ではどのように検討されているのか伺います。
			2. 小中学校の校舎・校庭から緑（樹木）が減っているようです。

また、校舎回りの草類を対処するためか、一面防草シートが貼りめぐらされている所があります。

除草作業が面倒だからですか。また、経費の問題なのでしょうか。

[illegible]

No. 4



令和8年9月 第3回定例会一般質問通告書

会津坂下町議会議員

質問者氏名 5 番 小畑博司

会津坂下町議会議長 赤城大地様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
			第1、子育て支援の将来をどのように考えるか。以下について伺います。 1) ばんげ保育所をどのように位置づけているか。 2) 幼稚園との年齢区分けをどのように考えているか。 3) 保育士等が安心して保育を提供できる配慮はされているか。 4) こども誰でも通園制度の活用現状と課題は何か。
			第2、健康に関する常識は、日々更新されていると言われます。町は町民の皆様の健康を守り、増進を図るために様々な施策を展開していますが、常識と思われることがどのように変わり、どのように啓発・周知していますか伺います。
			第3、持続可能な稲作を町民全体で考えよう。 食糧生産は国の根幹です。米価の乱高下は生産者の意欲を奪い、全国的に、経営の成り立たないコメ作りから若い農業者が撤退しています。この12～3年のあいだに40代以下では31万人から12万人への激減です。消費者も生産者も流通業者も行政も中高校生も含め、今こそ考えるときです。現状をどのように捉え、先頭に立って何をなすべきか考えを伺います。
			第4、獣害は拡大し続けています。一層の対策強化が必要ではないか。

*こども誰でも通園制度とは～

保護者の就労要件等を問わず、こどもを保育施設に通わせることができる制度。

利用可能時間：乳幼児一人あたり、月10時間以内

利用負担金：一時間につき、200円

実施場所：会津坂下町においては、ばんげ保育所

令和 8 年 9 月

第 3 回定例会

一般質問通告書

No.5



会津坂下町議会議員

質問者氏名 2 番 目黒克博

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
			第 1 防火用水の管理を問う。 1, 防火用水（防火水槽・プール・ため池）等の管理状況を問う。 防火水槽については、「地中に設置され内部に常に貯水し消火に備える消防の用の供する設備等で、非常に重要性の高い構造物」であります。しかしながら点検が難しい構造物であるため、管理が疎かになりがちです。この度の熊本地震のような地震が来れば、消火栓は使用不可に近いものとなると想定される為、日頃からの管理をしっかりと整えたいものであります。
			第 2 町防災行政無線システムを問う。 1, 防災行政無線システムの聞き取りをよくするための改善・対策を問う。 自然災害や火災等に対して、防災行政無線システムの効率的活用を図っているが、現在でも防災行政無線システムの聞き取りが困難な地域に対しての今後の改善計画について問う。（室内防災受令機の貸し出しの実態と、以前答弁にあった、FM 帯受信機による対応策は。）
			第 3 一般災害時の避難計画の策定を問う。 1, 危険区域からの避難誘導方法について問う。 2, 避難計画において定める指定避難場所における設備・資材等について問う。 3, 車中泊に関する事項について問う。（近年の災害避難方法の一つとして、車中避難をする率が高くなっている。） 4, 避難行動要支援者名簿を作成することが義務付けられていますが、当町在住者の把握状況と、避難行動要支援者に対しての避難計画について問う。 5, 公共施設だけで十分な避難場所が確保できない場合の対策について問う。 6, 避難時の体育館等における空調（冷房）設備の設置の考えを問う。

No. 6

令和 8 年 9 月
第 3 回定例会一般質問通告書



会津坂下町議会議員

質問者氏名 7 番 五十嵐 正 康

会津坂下町議会議長 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 件
			第 1 企業誘致の推進のために 1. 企業誘致のための用地の整備と施策について (1) 現在存在する坂本工業団地の拡充の可能性について 再開する可能性がある場合、追加のインフラ整備はできないのか。 (2) 電源地帯の地の利を生かしてデータセンターの誘致をしてはどうか。 (3) 新たな工業団地整備として館ノ下地区の開発の可能性について。 (4) 円安により企業の国内回帰が進む可能性があるが、これを契機とする方策を示すことはできないか。 2. コンテナホテルの誘致に関する問題の解決について (1) 都市計画区域・用途地域等の整合性を含め立地可能なエリアは。 また不可能なエリアがあれば示せ。 (2) 誘致する側の自治体としてクリアすべき課題があれば示せ。 3. 町内企業への継続的な支援の枠組みの創成の可能性について (1) ローカル 10000 プロジェクトで町独自の支援として予算化された補助枠があるが、地元既存企業を継続的に支援するという発想で、坂下町独自の中小事業者支援策の創出ができないか。 第 2 現庁舎跡地に構想される町中の振興施設の創成について 1. 都城市の中心市街地活性化の再開発に見る図書館・遊び場を核とした振興施設の成功例がある。 (1) 実現のためには地域住民、町民のニーズを把握する必要があると思うが、どのような手法を想定しているのか。 (2) 実現のための第一歩として商店街・商工団体等と連携してアンケート調査等を行うところから進めてみてはどうか。

No. 7



令和 8 年 9 月
第 3 回定例会一般質問通告書

No. 1

会津坂下町議会議員

質問者氏名 3 番 物江 政博

会津坂下町議会議員 様

大 分 類	中 分 類	小 分 類	件 名 及 び 要 旨
第1. 当町の防災行政について			
1. 水害対策を問う。			
(1) 河川の監視の状況を問う。			
(2) 現時点での町内の水路整備は十分と考えられるか。			
(3) 本年度、令和 4 年に改訂した「防災マップ」の改訂は考えているか。			
2. 都市公園の避難所活用を問う。			
(1) 第一次避難所となり得る為の公園の整備計画はあるか問う。			
(2) 防災公園には何が必要と考えられるか。			
(3) 避難所及び防災拠点としての新庁舎の機能を問う。			
3. 行政と民間による災害時を予測した避難訓練を問う。			
(1) 近年行われた避難訓練の状況を問う。			
(2) 当町で実施する避難訓練は四季の変化を考えているか。			
4. 災害発生時において広域的連携の考えを問う。			
第2. コミュニティバスについて			
1. 実証運行の成果を問う。			
2. 利用した住民からの感想と意見はあったか。			
3. 運行に伴うランニングコストを問う。			
4. 将来のコミュニティバスを多目的に利用する計画はあるか問う。			